

視聴覚教育

NO. 349

発行日

21. 1. 15

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

全国大会の年(平成21年)

現職研修委員会学習情報部長 山田賛平

明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては平成21年の新春を迎え、決意も新たにそれぞれの職場、団体で活動をスタートしてみえることと存じます。

「視聴覚教育総合全国大会・放送教育研究会全国大会」の年を迎えました。今年の10月27日・28日に、岡崎市、豊橋市、豊田市を会場にして開催されます。教育長・江村力先生が実行委員長に就任され、着々と準備が進められているところです。市内では、羽根小学校、甲山中学校、光ヶ丘女子高等学校、岡崎市視聴覚ライブラリー(会場は岡崎市図書館交流プラザ・りぶら)が授業及び活動の公開を行い、岡崎市民会館で全体会が開催されます。昨年に引き続き、関係各位の一層のご尽力を賜りたく存じます。

本大会はメディア利用の研究ですから、身近に控えた地上波放送デジタル化に伴うインフラの整備、活用事例集の集積は大きな要素の一つです。これらは今大会の重要な柱にもなっているのですが、世界的な不景気で、大きな打撃を

視聴覚用語
『無線通信機能つき 電子ブック』
携帯電話用の電波でネットに接続し、書籍や新聞などの情報をどこでも有料で入手できる。販売中の書籍は20万タイトル近く。書籍なら200冊程度まで端末に保存でき、誤って消してしまったても無料で再入手できる。単行本より軽い292グラムで、持ち歩くのも苦にならない。途中で電源を切っても再開できる。

受けています。デジタル化に対応する機器や、デジタル化の利点を生かせる環境の整備がかなり遅れ、地デジの教育利用の一端を提案しようとする活動が鈍るのではないかと、という心配が出てきました。

しかし、大会の中心は授業であり、教育活動です。最新の機器をふんだんに利用している様子を公開することはできないかもしれませんが、最も見てほしいことはメディア利用の在り方であり、授業研究の成果です。今、私たちが手にしている機器や環境で、どのような教育活動をつくり出せるのか、そして、よりよい教育活動をつくり出すには、どのような機器や環境を整備したらよいのかを提案していくことが、一番大事なことだと考えています。

資金が調わず、今すぐには整備できないが、これほど大切に価値があり、多くの人がよりよい授業をつくるために存分に使っていくものであれば、教育予算投入の最重要課題の一つとして、苦しいなかでも順次取り上げられるに違いありません。お金がない今



だからこそ、このことを念頭において、日常の研究実践を積み上げていきたいと思っています。一昨年より各会場校・施設において、格別のご努力で研究実践の活動が進められていることに、深く感謝申し上げます。さらに研究の推進が図られ、十分な成果が得られることを願っています。なお、大会実行の関係諸氏にとつて、本大会が実り多いものになり、充実感が味わえる年になることを祈っています。

● 視聴覚あれこれ

● 平成20年度 子ども科学映像祭結果報告

今年度の子ども科学映像祭の結果です。文部科学大臣賞をはじめ、全入賞作品の半分を岡崎の作品が占めるといふ、すばらしい結果でした。おめでとうございました。

【文部科学大臣賞(最優秀賞)】

「古代森の生きた化石」内田 智文(東海中2年)

【優秀作品賞】

「ミミズを探ろう」 竜美丘小 科学部(6年)

「よみがえる矢作川と三河湾」福中生の挑戦」 福岡中 パソコン部(3年)

【佳作】

「まきつくかな?アサガオのつる」

杉山 杏那(六名小3年)

「ムササビのクルルのひみつ」 生平小6年1組

「光合成によるCO₂の発生量」

津坂 啓太(井田小6年)

【奨励賞】

井田小学校 科学ビデオの制作に努力されたことに対しての奨励。

実践報告Ⅱ

「問題データベース」を使用して

常磐中学校 田中 啓之

十月の進路主事会で問題データベースを紹介してもらったので、職員に伝達すると共に、自分の教科の理科で、東京書籍のものを利用した。

授業では、五分程度の小テストとして使用した。問題データベースの中には、ドリル、たしかめ、フォローアップ、チャレンジなどの問題がある。目的や能力に応じて利用できる。また、決まった問題が掲載されているテンプレートだけでなく、フリーに問題を組み合わせることもでき、用途に応じて利用方法が工夫できる点も、とても便利であった。

問題データベースには、全国公立高校入試問題も用意されている。これは、これからの時期、入試対策のプリントとして活用できそうである。しかも、日本全国全ての道府県の問題が用意されているので、生徒の力試しとして活用できたり、問題内容を比較検討したり、類似問題を集中して学習したりなど、さまざまな方法で利用できる。

また、本校では、特別支援学級の授業でも、ドリルや小テストとして使用しやすく、多く利用されている。今後も幅広く活用してもらいたいと思う。



Ⅱレッツ・トライⅡ

「ドクター・シンプラー・キッズ」で発表する

本校では、低学年も含めて、全校児童が、自分の学習成果を発表する機会を設けている。そのときに、プレゼンテーションソフトを使って、聞いている人たちに分かりやすくする工夫をさせている。

高学年の児童は、パワーポイントをそのまま使って自分の発表する内容に合わせて、プレゼンテーションを作る事ができる。しかし、低学年の児童は、そのまま使いこなすところまで、スキルが向上していない。

そこで活躍するのが、「ドクター・シンプラー・キッズ」である。このソフトは、ワード、パワーポイント、インターネットエクスプローラーなどのソフトを低学年児童に使いやすいように、ツールバーなどの表示は、ひらがなになっているなど工夫されている。基本的な操作は、「ワード」「はつぴよう」を使うことを覚えることができれば、あとは児童が一人で操作できる。

そして、高度な機能を使いたいときには、教師が「パワーポイントにもどる」にして、支援すると、さらにいろいろな工夫ができるので、便利である。

(鳥川小学校 学習情報主任 鈴木 民治)



ライブレコーダーだよ

●新規購入機器の紹介

「ワイヤレスアンブレ」

ユニベックスWA-852D」2台



移動式のアンブレで屋外でも使用可能。ワイヤレスマイク2本、カセット、CD、ICレコーダー（SDカード使用・MP3形式録音）が機能として付属している。運動会の練習や子ども会の行事など幅広く利用できる機器である。

「ICレコーダー エディロール」

(ローランド) R-09HR」2台



高性能なステレオマイクを搭載したICレコーダー。ノイズの少ない高品質でクリアな音声が録音できる。リモコン機能もあり離れたところからでも操作できる。SDカードに保存しPCでも編集可能。授業記録や朗読・合唱の練習など多岐にわたって活用できる機器である。利用する場合は、視聴覚ライブラーHPよりご予約ください。 <http://www.oav1.jp/>